



野村環境リーダーズ戦略ファンドでは、  
環境問題の解決を牽引する企業、

## “環境リーダーズ”への

投資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しながら  
投資収益も追求していきます。

### 環境インパクト投資テーマ(ファンドの投資対象)



### 個別銘柄の紹介

(2025年7月31日 現在)

#### 循環経済

#### ウェイスト・マネジメント



画像はイメージです

北米最大の廃棄物管理サービス会社。

#### 【社会的課題へのソリューション】

北米廃棄物処理事業者の中で最大規模のリサイクル・プラットフォームを用いて、年間1,600万トン以上の資源のリサイクルを行なうと同時に、約5,600万トンの二酸化炭素排出抑制に貢献しています。また、埋立地のゴミから発生するメタンガスなどを電力に変換しています。

#### 【同社の強み/評価ポイント】

米国において廃棄物処理は小規模な事業者が多い中、戦略的に企業買収などによってスケールメリットを追求、広範な顧客ベースから生み出される安定したキャッシュフロー(現金収支)は、ディフェンシブ(景気に左右されにくい)なビジネスモデルに寄与しています。

上記の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

(出所)BNPパリバ・アセットマネジメントからの情報提供に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

### 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## Aコース(為替ヘッジあり)

## 運用実績

2025年7月31日 現在



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指數、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 12,231 円

※分配金控除後

純資産総額 211.7億円

- 信託設定日 2020年10月26日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、4月、10月の各11日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

## 騰落率

| 期間  | ファンド  |
|-----|-------|
| 1ヶ月 | 2.1%  |
| 3ヶ月 | 12.7% |
| 6ヶ月 | 2.3%  |
| 1年  | 2.5%  |
| 3年  | 12.7% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 23.2%

設定来累計 80 円

設定来=2020年10月26日以降

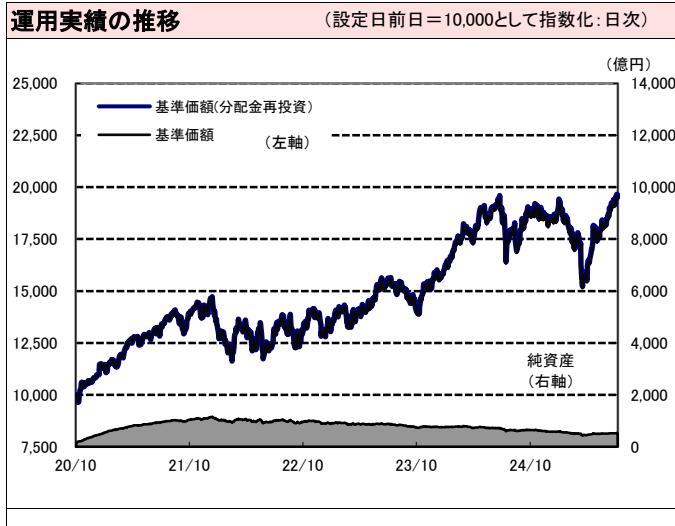
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

## Bコース(為替ヘッジなし)

## 運用実績

2025年7月31日 現在



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指數、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 19,398 円

※分配金控除後

純資産総額 518.5億円

- 信託設定日 2020年10月26日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、4月、10月の各11日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

## 騰落率

| 期間  | ファンド  |
|-----|-------|
| 1ヶ月 | 4.4%  |
| 3ヶ月 | 19.3% |
| 6ヶ月 | 3.2%  |
| 1年  | 4.6%  |
| 3年  | 45.9% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 95.2%

設定来累計 90 円

設定来=2020年10月26日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

ファンダムは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンダムの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンダムの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメントの資産内容と組入上位10銘柄

## 資産内容

2025年7月31日 現在

| 国・地域別配分  |        |
|----------|--------|
| 国・地域     | 純資産比   |
| 米国       | 68.1%  |
| フランス     | 10.2%  |
| 台湾       | 7.5%   |
| 英国       | 3.7%   |
| アイルランド   | 2.4%   |
| その他の国・地域 | 7.6%   |
| その他の資産   | 0.6%   |
| 合計(※)    | 100.0% |

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

| セクター別配分    |        |
|------------|--------|
| セクター       | 純資産比   |
| 情報技術       | 34.5%  |
| 資本財・サービス   | 31.5%  |
| 素材         | 13.2%  |
| ヘルスケア      | 8.7%   |
| 一般消費財・サービス | 3.3%   |
| その他のセクター   | 8.3%   |
| その他の資産     | 0.6%   |
| 合計         | 100.0% |

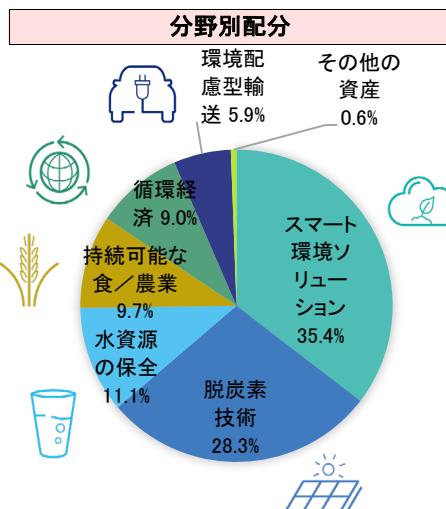
・セクター分類はGICSによります。

| 通貨別配分(為替ヘッジ前) |        |
|---------------|--------|
| 通貨            | 通貨比率   |
| 米ドル           | 66.3%  |
| ユーロ           | 17.0%  |
| 台湾ドル          | 7.5%   |
| 英ポンド          | 5.6%   |
| スイス・フラン       | 1.9%   |
| その他の通貨        | 1.7%   |
| 合計            | 100.0% |

・Aコースでは外貨建資産に投資を行なった場合は、原則として組入外貨建資産にかかる通貨を売り、日本円を買う為替ヘッジを行なっています。

| 規模別配分  |        |
|--------|--------|
| 規模     | 純資産比   |
| 大型     | 94.7%  |
| 中型     | 4.8%   |
| 小型     | 0.0%   |
| その他の資産 | 0.6%   |
| 合計     | 100.0% |

・規模別分類の定義は以下の通りです。  
大型株:100億米ドル以上  
中型株:20億米ドル以上100億米ドル未満  
小型株:20億米ドル未満  
(時価総額ベース)



※各分野の概要は以下の通りです。

|  |  |
|--|--|
|  | 再生可能・代替エネルギー関連技術の提供やエネルギー効率を高める製品・サービスの提供により、温室効果ガス削減に貢献する企業                               |
|  | 電気自動車や先進航空機、鉄道などの公共交通等、またそれらに関連する技術によって環境への負荷を減らすことに貢献する企業                                 |
|  | 農業における効率化および食品の機能性・安全性向上技術の提供により、持続可能な方法で食糧問題の解決に貢献する企業                                    |
|  | 水道や水処理などの水インフラや、高度な節水技術などを提供することで、限りある資源である水の保全に貢献する企業                                     |
|  | 適切な廃棄物処理、製品のリサイクル技術、資源の再利用や効率的利用を実現する素材の開発などにより、限りある資源を循環利用することに貢献する企業                     |
|  | 省エネルギーを実現するクラウドコンピューティングのようなデジタル・インフラに加えて、環境検査や環境コンサルティングのような環境サービスを通じて、様々な面から環境の保全に貢献する企業 |

・分野別区分はインパックス・アセットマネジメントの分類によります。

## 組入上位10銘柄

2025年7月31日 現在

| 銘柄               | 国・地域 | セクター     | 純資産比  |
|------------------|------|----------|-------|
| マイクロソフト          | 米国   | 情報技術     | 6.1%  |
| リンデ              | 米国   | 素材       | 5.0%  |
| アジレント・テクノロジー     | 米国   | ヘルスケア    | 4.3%  |
| エア・リキード          | フランス | 素材       | 4.2%  |
| シノプシス            | 米国   | 情報技術     | 3.4%  |
| ウェイスト・マネジメント     | 米国   | 資本財・サービス | 3.1%  |
| シュナイダー・エレクトリック   | フランス | 資本財・サービス | 3.1%  |
| エヌビディア           | 米国   | 情報技術     | 3.0%  |
| ウエオリア・エンバイロメント   | フランス | 公益事業     | 3.0%  |
| ルネサンスリー・ホールディングス | 米国   | 金融       | 3.0%  |
| 合計               |      |          | 38.1% |

組入銘柄数 42 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

・セクター分類はGICSによります。

\* 当資料は、BNPパリバ・アセットマネジメントの情報提供等を基に野村アセットマネジメントが作成しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 先月の投資環境

○米国株式市場は、上旬は、トランプ政権がベトナムとの関税交渉合意を発表し、関税交渉を巡る不透明感が後退したことや、大型減税法案が上下両院で可決されたことなどが好感され、上昇しました。中旬から下旬にかけてはトランプ大統領がパウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長の解任を検討しているとの報道等が嫌気され下落する場面もありましたが、日本やEU(欧州連合)との貿易交渉合意などが好感され上昇し、月間では上昇しました。

○欧州株式市場は、上旬は、5月の独鉱工業生産指数が市場予想を上回ったことや、米国との関税交渉が合意に近づいているとの報道が好感され上昇しました。中旬は、トランプ米大統領がEUからの輸入品に対し30%の関税を表明し、貿易協議の進展に対する懸念が高まったことや、6月の英CPI(消費者物価指数)が市場予想を上回り、インフレ再燃が懸念されたことなどが嫌気され下落しました。下旬は、日本と米国との関税交渉合意などを受け、米国とEU間における関税交渉進展への期待が高まったことが好感され、上昇し、月間では上昇しました。

○第17回BRICS(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)首脳会議が7月6日と7日、ブラジルのリオデジャネイロで開催されました。同会議には、中国、インド、ブラジル、ロシアなどのBRICS加盟国に加え、複数のパートナー国が参加し、「平和と安全保障」「多国間主義の強化」「気候変動対策」「金融」「人工知能」に関するテーマが議論され、最終日には、多国間主義の尊重などを掲げた「リオデジャネイロ宣言」が採択されました。気候変動に関しては、地球温暖化が共通課題となっているとの認識を共有、パリ協定締結国としての既存のコミットメントを堅持し、気候変動対策の努力を維持・拡大することを求めました。さらに、先進国が新興国に対して責任を負っていることを強調したうえで、気候ファイナンスの拡大で合意しました。トランプ米大統領がパリ協定から離脱する大統領令に署名するなど、G7(主要7ヶ国会議)などの存在感が薄まるなか、気候変動対策においても新興国の存在感が増しています。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)は、Aコース、Bコース共に上昇しました。

○組入上位銘柄のうち、株価上昇率が大きかった主な銘柄はシノプシス(スマート環境ソリューション)、エヌビディア(スマート環境ソリューション)などでした。

○当ファンドは6つの「環境インパクト投資テーマ」(「脱炭素技術」、「環境配慮型輸送」、「持続可能な食/農業」、「水資源の保全」、「循環経済」、「スマート環境ソリューション」)をもとに、社会的課題の解決に貢献する製品やサービスを提供する優良企業に投資を行ないました。

## 今後の運用方針(2025年7月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○市場環境は引き続き、長期的に幅広い持続可能なソリューションの成長機会を後押しすると考えています。トランプ米大統領の成長促進政策が米国株式への追い風となるとの見方で始まった2025年ですが、投資家は、足元では関税や地政学的緊張に伴う不確実性の増大や消費者および企業の信頼感の低下に対応しています。市場のボラティリティ(価格変動性)が高まっていることから、廃棄物・リサイクルや産業ガスなどの回復力の高い分野において、当ファンドに安定感をもたらす優良なディフェンシブ・ビジネスを有する銘柄への投資を維持しています。環境市場では、環境・気候政策に対するトランプ米大統領の姿勢が、再生可能エネルギー銘柄のセンチメント(市場心理)に逆風をもたらしていますが、当ファンドでは足元、直接的な関連をもつ銘柄を保有していません。当ファンドは、人口動態の変化、技術革新、消費の拡大など、長期的な成長トレンドから利益を得ることを目指しており、誰がホワイトハウスにいようと、持続可能な成長分野であると考えています。

○当ファンドは環境関連企業の株式を主要投資対象とし、中期的な資産価値の成長を目指して運用を行ないます。投資対象とする環境関連企業には、再生可能エネルギー、エネルギー効率、水インフラ、汚染防止、廃棄物管理、環境サポートサービス、持続可能な食品関連企業などが含まれますが、これらのテーマに限定されることなく、環境関連企業に幅広く投資を行ないます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見本)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 組入上位10銘柄の解説

2025年7月31日現在

| 銘柄  | 分野            | 組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由  |
|---|---------------|--|
| 1 MICROSOFT CORP<br>マイクロソフト                       | スマート環境ソリューション | 米国のソフトウェア会社。<br>パソコン用OS「Windows」、ウェブブラウザ、クラウドコンピューティング・サービス、ビジネス用アプリケーション・ソフトウェアやコラボレーション・プラットフォームなどの開発で世界をけん引。同社の主力製品であるクラウドコンピューティング・サービスはあらゆる分野におけるデジタル・トランスフォーメーションを推進し、業務効率化による生産性の向上だけでなく、エネルギーなどの資源活用の大規模な効率化の実現に貢献する。                      |
| 2 LINDE PLC<br>リンデ                                | 脱炭素技術         | 産業ガスの分野における世界大手。<br>産業ガスは自動車、医療、エネルギー、半導体など多種多様な分野で利用され、取引先の製造拠点にガス貯蔵施設が設けられるため、競合他社の参入障壁が高い。産業ガスは作業の効率化や廃水処理などの分野で活用され、顧客の二酸化炭素排出削減や清潔な水の保全に貢献、水素生成技術とともに同社を支える中核事業として長期的な成長が期待される。   |
| 3 AGILENT TECHNOLOGIES INC<br>アジレント・テクノロジー        | スマート環境ソリューション | 電子計測機器メーカー。<br>環境、食品、ライフサイエンスなどの分野に向けて検査・分析機器やソフトウェアの開発・製造・販売、サポートを行なう。アジア地域では環境測定ニーズの増加により、同社の製品の需要が高まっている。飲料水の有機化合物の検査、室内空気品質の測定、廃水に含まれる汚染物質の分析など、同社が提供する技術は顧客の製品開発段階から品質管理の段階まで必要とされ、また新たな化学汚染物質が発見された際にも毒性の研究に活用されるなど、今後も継続的な需要が期待される。         |
| 4 AIR LIQUIDE SA<br>エア・リキード                       | 脱炭素技術         | フランスの産業ガス大手。<br>産業・医療用ガスの製造販売を手掛ける一方、水素エネルギーの分野にも進出。グローバルに水素ステーション事業を開拓しており、世界の水素ビジネスをけん引。各國政府は水素を有力な脱炭素エネルギーと位置づけており、水素ビジネスにおいて世界最大手の同社にとっては追い風であるとともに、日本でも伊藤忠商事と水素ステーションを全国展開することを計画するなど、今後も水素燃料において中心的存在となっていくと考える。                             |
| 5 SYNOPSYS INC<br>シノプシス                           | スマート環境ソリューション | 米国の電子設計自動化ソリューション会社。<br>半導体及び電子機器業界向けに、EDAおよびIP(知的財産)を提供し、顧客商品の設計工程全般にわたる効率化や市場投入の迅速化を支援する。半導体などの設計の各段階でEDAを使い、設計ミスを無くすことで、商品設計の大規模な効率化と省力化を実現。半導体への需要増加や半導体チップ設計におけるAIのイノベーションなど、数年にわたる追い風が期待される。   |
| 6 WASTE MANAGEMENT INC<br>ウェイスト・マネジメント            | 循環経済          | 北米のゴミ収集・廃棄物処理大手。<br>ゴミ収集、埋立地管理、中間処理施設運営、リサイクル、その他の5つの事業セグメントで構成、規模の優位性が強み。北米の廃棄物処理最大手として、効率的に廃棄物の回収・分別やリサイクルを行なうことで北米の廃棄物問題に対処し、さらにはゴミ収集車燃料の天然ガスへの移行、ゴミから得られるメタンガスによる再生可能エネルギーの生成など、世界を変える企業として世界的に注目されている。  |
| 7 SCHNEIDER ELECTRIC SE<br>シュナイダーエレクトリック          | 脱炭素技術         | フランスの省エネルギー関連メーカー。<br>オートメーションやソフトウェアなどを組み合わせ、住宅、ビル、データセンター、インフラおよび各種産業向けの統合ソリューションを提供し、取引先の省エネルギー・コストを実現。独自のIoT(モノのインターネット)プラットフォームを用いて産業オートメーション、商業ビル管理、スマートホームやデータセンターなど多様な施設での大幅なエネルギーの効率化と二酸化炭素排出の削減を促進、ネットゼロ社会の実現に向けた最も重要なソリューションの一つであると考える。 |
| 8 NVIDIA CORP<br>エヌビディア                           | スマート環境ソリューション | 米国の半導体メーカー。<br>半導体のなかでもGPU(グラフィックス・プロセッサー・ユニット)の設計・開発に特化。ゲーム、プロフェッショナルグラフィックス、データセンター、AI、自動運転車の分野での技術革新において、業界をリードしている。GPUはCPU(中央演算処理装置)に比べ大幅なエネルギー効率を実現する。大規模なクラウドサービス・プロバイダーやデータセンターなどにおいては、より高いエネルギー効率が必要とされており、GPUへの需要の増加が期待される。               |
| 9 VEOLIA ENVIRONNEMENT<br>ヴェオリア・エンバイロメント          | 水資源の保全        | フランスの水ビジネス世界最大手。<br>水の他、廃棄物、エネルギー管理ソリューションを提供。また、3つの事業活動を通じて、資源利用の最適化、再生およびリサイクルにも従事。急成長する水ビジネス市場において水源から水道までの水を維持管理するシステムをグローバルに展開する数少ない企業の一つであり、規模を生かしたさらなるシェアの拡大が期待される。   |
| 10 RENAISSANCERE HOLDINGS LTD<br>ルネサンスリー・ホールディングス | スマート環境ソリューション | 国際的な損害保険会社。<br>地震、ハリケーン、洪水、火災などの自然災害をカバーする災害再保険事業や、自動車責任、医療過誤責任、取締役・役員賠償責任などの特定リスクを対象とする特殊再保険事業などに従事する。大規模な台風、山火事や洪水などによる損失頻度と規模が拡大しているなか、再保険は保険金支払リスクを分散させる仕組みとなっており、元受保険会社の経営を安定させることで、災害時の経済的ダメージを軽減し、社会のより早い復興に貢献。                             |

(出所)「組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由」は、BNPパリバ・アセットマネジメントからの情報提供等に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。  
※各分野の概要については、BNPパリバ・ファンズグローバル・エンバイロメントの資産内容をご参照ください。

・分野別区分はインパックス・アセットマネジメントによります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見本)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は  
**野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドは、ESG\*を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。

\* ESGとはEnvironment(環境)、Social(社会)及びCorporate Governance(企業統治)の総称です。

## ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している環境関連企業の株式を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、為替ヘッジを行なう「Aコース」と為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。
- 各々以下の外国投資法人である「BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント」および  
国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

| ファンド名             | 投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券                      |
|-------------------|---|
| Aコース<br>(為替ヘッジあり) | BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント I Plus H JPY(分配なし) |
| Bコース<br>(為替ヘッジなし) | BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント I Plus JPY(分配なし)   |

- 通常の状況においては、「BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント」への投資比率は、概ね90%以上を目指します。

### ■ファンドの組み入れ銘柄■

ファンドが投資対象とする「BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント」では、ESG特性を重視して選定した銘柄に純資産総額の75%以上を投資します。

\* 投資対象銘柄のESG特性を考慮してポートフォリオ構築を行なう際の制約要因やリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

### ■外国投資法人「BNPパリバ・ファンズーグローバル・エンバイロメント」の主な投資方針について■

- ・新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している環境関連企業の株式を主要投資対象とし、中期的な資産価値の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ・クラスI Plus H JPY(分配なし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ・クラスI Plus JPY(分配なし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないません。

\* 上記は2025年6月27日現在のもので、今後変更となる場合があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

### ■投資対象とする外国投資法人におけるサステナブル投資と持続可能な社会への移行の促進■

- ・投資対象とする外国投資法人では、環境関連企業の株式への投資を通じて、持続可能な社会への移行を促進することを目指します。また、同銘柄への投資比率は純資産総額の75%以上を維持することを基本とします。
- ・環境関連企業の技術、製品およびサービスなどが環境に与える影響を把握し、ファンド全体における持続可能な社会への移行に対する貢献度合いをモニタリングします。

### ■インパックス・アセットマネジメント・リミテッドのスチュワードシップ方針■

- ・インパックス・アセットマネジメント・リミテッドは、議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。
- ・インパックス・アセットマネジメント・リミテッドのスチュワードシップ方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針」にある「野村環境リーダーズ戦略ファンド」の「スチュワードシップの方針はこちら」より、インパックス・アセットマネジメント・リミテッドのサイト(英語)にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。

- 原則、毎年4月および10月の11日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 投資リスク

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

|             |  |
|-------------|--|
| ●信託期間       | 無期限(2020年10月26日設定)   |
| ●決算日および収益分配 | 年2回の決算時(原則、4月および10月の11日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。   |
| ●ご購入価額      | ご購入申込日の翌営業日の基準価額   |
| ●ご購入単位      | 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位<br>(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。<br>原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)<br>※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。   |
| ●ご換金価額      | ご換金申込日の翌営業日の基準価額   |
| ●スイッチング     | 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。<br>※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。  |
| ●お申込不可日     | 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合、あるいは申込日の翌営業日がルクセンブルグの銀行の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。<br>・ニューヨークの銀行<br>・ロンドンの銀行<br>・ルクセンブルグの銀行<br>・ニューヨーク証券取引所<br>・ロンドン証券取引所  |
| ●課税関係       | 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。<br>なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |

### 【当ファンドに係る費用】

|                              |  |
|------------------------------|--|
| ◆ご購入時手数料                     | ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br><スイッチング時><br>販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br>*詳しくは販売会社にご確認ください。   |
| ◆運用管理費用(信託報酬)                | ファンドの純資産総額に年1.10%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。<br>○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注)</sup><br>年1.86%程度(税込)<br>(注)ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 |
| ◆その他の費用・手数料                  | 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。  |
| ◆信託財産留保額<br>(ご換金時、スイッチングを含む) | ありません。   |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### 《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益)を含む売買益を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 【ご留意事項】

・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。

・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。  
**野村アセットマネジメント株式会社**  
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)  
<受付時間>営業日の午前9時～午後5時  
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

**＜委託会社＞ 野村アセットマネジメント株式会社**

[ファンドの運用の指図を行なう者]

**＜受託会社＞ 野村信託銀行株式会社**

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# 野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース／Bコース

## お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号                     | 加入協会                  |                         |                         |                            |
|--------------|--------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|              |                          | 日本証券業<br>協会           | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 野村證券株式会社     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/>   | <input type="radio"/>   | <input type="radio"/>      |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。